

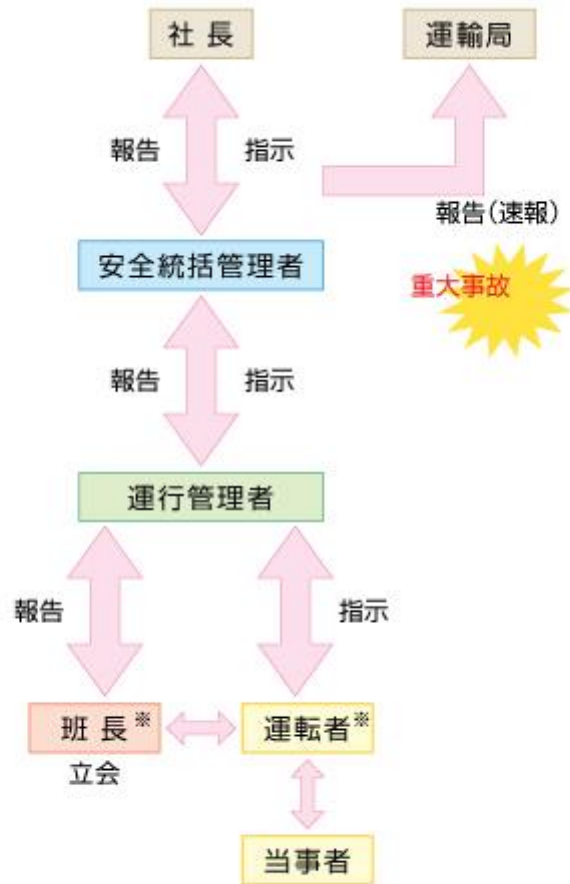
輸送の安全に関する予算

ドライブレコーダを更新し、ヒヤリ・ハット、事故惹起者に対する個別・集団教育に活用するとともに、車内防犯カメラの設置により、犯罪を予防し、お客様に対する接遇の向上にむけ活用することとします。

事故防止教育の専門的な第三者機関に依頼し、教育の手法を研究するとともに実践してまいります。

夏期・冬期の特別交通安全運動を、毎年設定し、営業成績と皆勤で無事故・無違反者に対する顕彰制度を展開します。

事故・災害に関する連絡・報告体制



※被害者の救護・119番通報
※警察署への届け出

毎日タクシーグループ「非常緊急事態処理要領」より

安全管理規定と安全統括管理者

安全管理規定

平成 25 年 4 月 1 日 一部改定

(毎日タクシーグループ)

毎日交通株式会社

日本交通株式会社

三和交通株式会社

大名古屋交通株式会社

目次

第一章 総則

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

第一章 総則

(目的)

第一条

この規程(以下「本規程」という。)は、道路運送法(以下「法」という。)第 22 条及び第 22 条の 2 の規定並びに国土交通省告示「旅客自動車運送事業に係る安全マネジメントに関する指針」に基づき、輸送の安全を確保するために遵守すべき事項を定め、以って輸送の安全性の向上を図ることを目的とする。

(適用範囲と組織)

第二条 本規程は、まいにちタクシーグループ (以下「グループ」という。)別表 1 の各企業の一般乗用旅客自動車運送事業に係る業務活動に適用する。

- 2 まいにちタクシーグループとは、一般乗用旅客自動車運送事業の事業許可を受けた別表 1 の各企業で構成する組織をいう。
- 3 グループ経営トップとは、別表 1 の各企業を統括する最高経営責任者をいう。

第二章 輸送の安全を確保するための事業の運営の方針等

(輸送の安全に関する基本的な方針)

第三条 グループ経営トップは、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、グループ各企業内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、従業員に対し輸送の安全の確保が最も大切であるという意識を徹底させる。

- 2 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、安全対策を常に見直すことにより、グループ各企業の全従業員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する。

(輸送の安全に関する重点施策)

第四条 前条の輸送の安全に関する方針に基づき、次に掲げる事項を実施する。

- 一 輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を遵守すること。
- 二 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めること。
- 三 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じること。
- 四 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、グループ各企業内において必要な情報を伝達、共有すること。
- 五 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを適確に実施すること。

2 グループ各企業が密接に協力し、一丸となって輸送の安全性の向上に努める。

(輸送の安全に関する目標)

第五条 前条に掲げる方針に基づき、目標を策定する。

(輸送の安全に関する計画)

第六条 前条に掲げる目標を達成し、輸送の安全に関する重点施策に応じて、輸送の安全を確保するために必要な計画を作成する。

第三章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の体制

(経営トップの責務)

第七条 グループ経営トップは、グループ各企業の輸送の安全の確保に関する最終的な責任を有する。

2 グループ経営トップは、グループ各企業の輸送の安全確保に関し、予算の確保、体制の構築等必要な措置を講じる。

3 グループ経営トップは、グループ各企業の輸送の安全に関し、安全統括管理者の意見を尊重する。

4 グループ経営トップは、グループ各企業の輸送の安全を確保するための業務の実施及び管理の状況が適切かどうかを常に確認し、必要な改善を行う。

(グループ内における組織)

第八条 次に掲げる者を選任し、輸送の安全の確保について責任ある体制を構築し、輸送の安全を確保するためのグループ各企業の統治を適確に行う。

一 安全統括管理者

二 グループ各企業の取締役営業部長又は営業所の運行責任者

三 グループ各企業の運行管理者

四 グループ各企業の整備管理者

五 その他必要な責任者

2 グループ各企業の取締役営業部長若しくは営業所の運行責任者は、安全統括管理者の命を受け、輸送の安全の確保に関し、営業所の運行管理者を統括し、指導監督を行う。

3 運行管理者は取締役営業部長若しくは営業所の運行責任者の命を受け、輸送の安全の確保に関し営業所の管理者及び要員等を統括し、指導監督を行う。

4 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統については、安全統括管理者が病気等を理由に本部に不在である場合や重大な事故、災害等に対応する場合も含め、別紙に定める組織図による。

(安全統括管理者の選任及び解任)

第九条 グループ各企業の取締役又は社外取締役若しくは執行役員のうち、旅客自動車運送事業運輸規則第 47 条の 5 に規定する要件を満たす者の中から、当グループの安全統括管理者として選任する。

2 安全統括管理者が次の各号のいずれかに該当することとなったときは、当該管理者を解任する。

一 国土交通大臣の解任命令が出されたとき。

二 身体の故障その他止むを得ない事由により職務を引き続き行うことが困難になったとき。

三 関係法令等の違反又は輸送の安全の確保の状況に関する確認を怠る等により、安全統括管理者がその職務を引き続き行うことが輸送の安全の確保に支障を及ぼす恐れがあると認められるとき。

(安全統括管理者の責務)

第十条 安全統括管理者は、次に掲げる責務を有する。

- 一 グループ各企業の全従業員に対し、関係法令等の遵守と輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底すること。
- 二 輸送の安全に関し、その実施及び管理の体制を確立、維持すること。
- 三 輸送の安全に関する方針、重点施策、目標及び計画を誠実に実施すること。
- 四 輸送の安全に関する報告連絡体制を構築し、グループ各企業の全従業員に対し周知を図ること。
- 五 輸送の安全の確保の状況について、定期的に、かつ必要に応じて、随時、内部監査を行い、グループ経営トップに報告すること。
- 六 グループ経営トップに対し、輸送の安全の確保に関し、必要な改善に関する意見を述べる等必要な改善の措置を講じること。
- 七 運行管理が適正に行われるよう、グループ各企業の運行管理者を統括管理すること。
- 八 輸送の安全を確保するため、グループ企業の全従業員に対して必要な教育又は研修を行うこと。
- 九 その他グループ各企業の輸送の安全の確保に関する統括管理を行うこと。

第四章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理の方法

(輸送の安全に関する重点施策の実施)

第十一条 輸送の安全に関する基本的な方針に基づき、輸送の安全に関する目標を達成すべく、輸送の安全に関する計画に従い、輸送の安全に関する重点施策を着実に実施する。

(輸送の安全に関する情報の共有及び伝達)

第十二条 グループ経営トップと現場や運行管理者と運転者等との双方向の意思疎通を十分に行うことにより、輸送の安全に関する情報が適時適切にグループ各企業内において伝達され、共有され

るように努める。また、安全性を損なうような事態を発見した場合には、看過したり、隠蔽したりせず、直ちに関係者に伝え、適切な対処策を講じる。

(事故、災害等に関する報告連絡体制)

第十三条 事故、災害等が発生した場合における当該事故、災害等に関する報告連絡体制は別に定めるところによる。

2 事故、災害等に関する報告が、グループの安全統括管理者、経営トップ又は各企業内の必要な部局等に速やかに伝達されるように努める。

3 安全統括管理者は、グループ企業内において報告連絡体制の周知を図るとともに、第一項の報告連絡体制が十分に機能し、事故、災害等が発生した後の対応が円滑に進むよう必要な指示等を行う。

4 自動車事故報告規則(昭和 26 年運輸省令第 104 号)に定める事故、災害等があった場合は、報告規則の規定に基づき、国土交通大臣へ必要な報告又は届出を行う。

(輸送の安全に関する教育及び研修)

第十四条 第五条の輸送の安全に関する目標を達成するため、必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、着実に実施する。

(輸送の安全に関する内部監査)

第十五条 安全統括管理者は、自ら又は安全統括管理者が指名する者を実施責任者として、安全マネジメントの実施状況等を点検するため、少なくとも一年に一回以上適切な時期を定めて輸送の安全に関する内部監査を実施する。

また、重大な事故、災害等が発生した場合又は同種の事故、災害等が繰り返し発生した場合その他特に必要と認められる場合には、緊急に輸送の安全に関する内部監査を実施する。

2 安全統括管理者は、前項の内部監査が終了した場合はその結果を、改善すべき事項が認められた場合はその内容を、速やかに、グループ経営トップに報告するとともに、輸送の安全の確保のために必要な方策を検討し、必要に応じ、当面必要となる緊急の是正措置又は予防措置を講じる。

(輸送の安全に関する業務の改善)

第十六条 安全統括管理者から事故、災害等に関する報告又は前条の内部監査の結果や改善すべき事項の報告があった場合若しくは輸送の安全確保のために必要と認める場合には、輸送の安全確保のために必要な改善に関する方策を検討し、是正措置又は予防措置を講じる。

2 悪質な法令違反等により重大事故を起こした場合は、安全対策全般又は必要な事項において現在よりも更に高度の安全確保のための措置を講じる。

(情報の公開)

第十七条 輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計、輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統、輸送の安全に関する重点施策、輸送の安全に関する計画、輸送の安全に関する予算等実績額、事故、災害等に関する報告連絡体制、安全統括管理者、安全管理規程、輸送の安全に関する教育及び研修計画、輸送の安全に関する内部監査結果及びそれを踏まえた措置内容については、毎年度、外部に対し公表する。

2 事故発生後における再発防止策等、行政処分後に輸送の安全確保のために講じた改善状況について国土交通省に報告した場合には、速やかに外部に対し公表する。

(輸送の安全に関する記録の管理等)

第十八条 本規程は、業務の実態に応じ、定期的に及び適時適切に見直しを行う。

2 輸送の安全に関する事業運営上の方針の作成に当たっての会議の議事録報告連絡体制、事故、災害等の報告、安全統括管理者の指示、内部監査の結果、グループ経営トップに報告した是正措置又は予防措置等を記録し、これを適切に保存する。

3 前項に掲げる情報その他の輸送の安全に関する情報に関する記録及び保存の方法は別に定める。

(付則)

第十九条 本規程は、平成18年10月1日より実施する。

本規程は、平成21年3月1日一部改定実施する。

本規程は、平成25年4月1日一部改定実施する。

2 本規程を適用するグループの各企業は、別表1による。

<閉じる>